

(呼びかけキーワード)

Help you!*me!* ではございません。

まず、みなさんが、SPARJ の人脈ネットワークを利用いただき、助かる（儲かる）ことが先です。

そして、うまくいけば *me* も助けていただく。

それを期待して、みなさんの新しい挑戦をお手伝いします。

(はじめに)

「激変の世の中になってきた」というフレーズは、枕詞のごとく文章の書きだしに使われている。しかし、この数年の変わり方は、尋常ではない。日本にとって、おそらく戦後迎える最大の変革時代に入ったといえそう。技術、経済、政治、軍事・・・

サプライチェーン始め既存のビジネスモデルが崩壊し、新たなエコシステムが生まれる。試行錯誤しながら、大半は失敗しながらも、一部の先見性のあるアイデアが生き残る。多くの人にとっては、過酷な辛い時代にはいりこんだが、動向を見極め、知恵をしほれば、チャンスはある。

これを乗り越えるには、新しい発想が求められる。当然、一人の力では難しい。仲間を募り（できたら異質の経験を持つ違った発想も加えて）、チーム力として探し出し、行動に移す。そこに SPARJ の人脈ネットワークを利用いただきたい。

(SPARJ の存在価値)

1. 3D デジタル（採取・処理・表示）に関わる技術・市場の世界動向の情報提供
2. 20 数年間続けてきた活動中で得られた人脈ネットワーク、各種分野（産学官）現在 約 4500 人

<2026 施策案>

1. 定常は、Plaza 各種クラブ活動中心 オンライン またはリアル
 2. 2026 年に、1 回の大会 SparPlaza2026 を開催する。1 日のみ。 9 月上旬 or 10 月下旬?
キャッチフレーズ 「防災 3D」 2025 年の「防災日本」は、時期尚早であった。
 3. 大会は、各種 Plaza クラブ活動の横のつながりをねらう。総参加者数 200~300 人
 4. 従来のような事例発表や講演ではなく、問題提起、課題解決にむけての知恵を集める。クラブ活動活発化と新メンバー募集を目的とする。あるいは、新規クラブ活動テーマの提案。スタートアップ育成。
 5. 発表（提案）参加は有料とする。発表により、大きなメリットが得られる。
 6. 基調講演は、1 人（場合によっては 2 人）だけは事務局から依頼、無料。
- 候補：①防災庁の実務担当若手 ②ADJ 社長 田邊さん ドローン新時代到来。「空モビ」
7. 出展ブースは作らない。長机 1 つとポスター 1 枚。パーティションなし。 万円
 8. 講演会場 参加者 40~80 人の規模。
 9. 交流の場重視 サロン風。情報発信の場をさらに強化。
 10. 会場候補 ・蒲田 大田区産業プラザ 4F or 小展示場 2F,
・大井町 きゅりあん 6F 5 区画を 2 つに仕切る。

<中期的目標>

1. ビジネスとして継続できる体制を作る。後継希望者がでてくるように、(赤字継ぎでは誰も引き継げない)
2. 収入の大半は、SPARJ 会の年会費（法人会員、個人会員）で充当する。
これまで、イベントのスポンサー出展費が7, 8割
法人年会費 20万円、個人会員 1万円。
3. 個人会員のメリットは、各種 Plaza クラブ活動への参加、と SparView 海外ニュースの購読
ビジネスの芽を育てスタートアップが生まれることをねらう。
数年後に法人会員になることを期待。 若手もしくは経験豊富な気の若いシニアの出番。
4. 法人会員の主たるメリットは、SPARJ で人脈を活かした広告・宣伝を行うこと
イベント出展に、特別割引。
5. 2026 年中に、最低限の事務局経費を含めて安定した財政基盤を築く。 少なくとも先の見通しが得られることを目標とする。

<防災>

なぜ、防災に重点おくのか、
極めて範囲は広い、3D 情報が役立つテーマが無数にある。
しかし、これまで民間ビジネスにつながるテーマが、まだ不鮮明であった。

災害分類 赤字：防災に3次元情報が役立つ



1.自然災害(天災)

1-1.気象災害 風災（台風） 降雨災害（洪水） 雪害 酷寒(気温低下)災害
酷暑(気温上昇)災害 霜害 電害 雷害（落雷） 霧害 湿害、高潮、海水温上昇
1-2.地変災害 震害（地震） 火山災害 地滑り災害（土石流）
1-3.生物災害 ウィルス、病原菌(伝染病・風土病) 虫害 鳥害 貝害 獣害、植物害
山火事、海面上昇、隕石、オゾン層破壊、PM、太陽フレア

2.人為災害(人災)

2-1.都市公害 大気汚染 水質汚濁 騒音 振動 汚物・悪臭 地盤沈下 火災
2-2.産業災害 工場災害(施設災害) 鉱山災害(施設災害) 土建現場災害(施設災害)
職業病・労働災害(人的災害) 放射線障害(人的災害)
2-3.交通災害 陸上交通災害 飛行機事故 ドローン 船舶災害(火災・衝突・海難)
2-4.戦争災害、テロ災害 ……意図的に害を与えるもの
2-5.管理災害 調査粗漏による災害 設計・計画のずさんによる災害
施工不良 & 経年劣化への管理・補修の不備・怠慢による災害
行政処置の不当による災害 流言ひ語による災害（風評被害……意図的） SNS
予報警報の間違いによる災害 その他人間の英知の不測による災害
サイバー攻撃・詐欺

引用文献 <http://db2.littera.waseda.jp/saigai/1-1/1-1.htm>
大矢根「社会学的災害の一視点～被災生活の連続性と災害文化の具現化」
『年報 社会学論集』No.5,1992,p.141より。青字は俗称、赤字は筆者が追記したもの。

地球温暖化に由来する自然災害は、長い目で見た人為災害と言える。

新内閣で、河田先生と石破さんが画策してきた、国家としての防災取組の重要性、やっと、防災庁が来年から本格的に動き出す。予算を付けてテーマアップ。カネが動き始めると、注目度が一挙にあがる。大きな流れになるのは、数年かかるが、来年から少しあは動き始める。この流れを、SPARJ の特徴のメインストリームとしたい。

<Plaza クラブ活動>

各テーマごとに、現状と今後の活動方針 および新たに立ち上げたいテーマを列記

1) GS (Gaussian Splats) の測量への適用 1 寸法精度機能

世の中の常識（世界・日本）として、GS は、非常に簡便、リアリティ、見栄えが良いが、測量グレードの精度は得られない。⇒ これに反抗。やり方と、用途によっては必要な精度が得られる。

見栄えの良さ、だけでも巨大なニーズとマーケットが存在し、急速に広がりつつある。SPARJ として、とくに力を入れなくても普及加速し始めた。プラント配管プレハブの火なし工事を例にして、研究会を立ち上げる。

理論的に、実現できることが、実証された。（添付 昆虫マクロ Gaussian レポート および投資ゼロ提案書「ちくわクラブ」参照）手法が確立できれば、日本からのユニークな試みとして、世界に発信したい。

11/13 精密工学会&写真測量学会 共同主催のシンポジウム 参加した。

写真測量学会 は、マクロな位置情報から降りてきたので、当初から GS の効果を高く評価。

河村は、兄弟関係にある ARIDA 研究会の幹事の一人。

上記シンポジウムで、志手先生（芝浦工大）3D 計測の技術歴史として、GS の位置づけも明確に解説。

2) GS (Gaussian Splats) の測量への適用 2 表現力重視

その他 GS 「防災 3D」として、無数の用途がありうるので、Plaza クラブに、いくつか取り上げていく価値はありそう。世界に発信できなくても国内マーケットだけでも、相当な広がりはありうる。

メタバースとしての存在価値は明らか、急速に利用広がる。

Plaza 活動にも、いくつかのテーマ取り上げる価値あり。三毛氏 SparPlaza2025 提案ベース資料参照

3) 3 次元ビューワの選定ガイド

これまでポツリクラブとして、ウイーン工科大学が開発した Potree を取り上げ、4 回のハンズオンを実施してきた。今後は、対象を広げて他の〈無料?〉ビューワとの比較、選定ガイドなどに発展させていく。

4) プラント 3 次元 Pla3 クラブ(2)

他のクラブ活動と違い、過去 5,6 回リアルで集まってきた。当面は、プラントエンジニアリング、設備運転・保全のライフサイクルの中で、異なるシステム間でのデータ連動に注力していく。

その一つが、エンジデータからメンテナンスデータへの連動である。世中のデータオープン化・標準化などの大風呂敷を拡げるのではなく、狭い範囲、特定のシステム間の連携から着手。 緒形氏（メンテ協）主導。

5) プラント 3 次元 Pla3 クラブ(3)

エンジデータと、工事、内作システムとのデータ連動 是松さん（山九プラントエンジ）

6) 自治体 DX 喫緊の課題 下水道管理 ドローン

7) 超小型ライダーセンサー ドローン登載も可 九工大 提案ベース資料参照

8) ゲンジクラブ ヴィタリテ 高本チーム

ゲームエンジンの 3D ゲームへの適用から、ヒューマンインターフェースの研究

9) セイコーワープ スタートアップ段階 3 DVEGA スキャナー 設備管理、劣化診断

10) 超小型ドローン

- ・三毛氏 提案ブース資料参照
SparPlaza2025 の提案ブース参加
映像系なので、ちょっと違うか?
- ・FTR セミナー (11/11) で、LiverWare 全 (チョン) 氏講演。下水道問題もあり、売上急増
600 台、画面を見ながら遠隔操作可能。アンテナ 100~200m 可能

以下、他団体との共同開発

11) 防災ドローン、山岳救助、発災直後の人命救助 Dira, Moralis, 防災運用制度研究会

12) 生鮮食料物流ドローン ADJ 田邊さん

<余談 1 >

SPARJ のミッションは、3 次元に関わる世界の動向を、いち早く日本にも伝えることである。世界のマーケットもこの GS の登場は重要なできごとであり、昨年の Geoweek 話題のなかでも、AI と並び 2 大ニュースとして取り上げられている。別に SPARJ がとり上げなくても、世界の動向は、多くのユーザが情報を把握している。

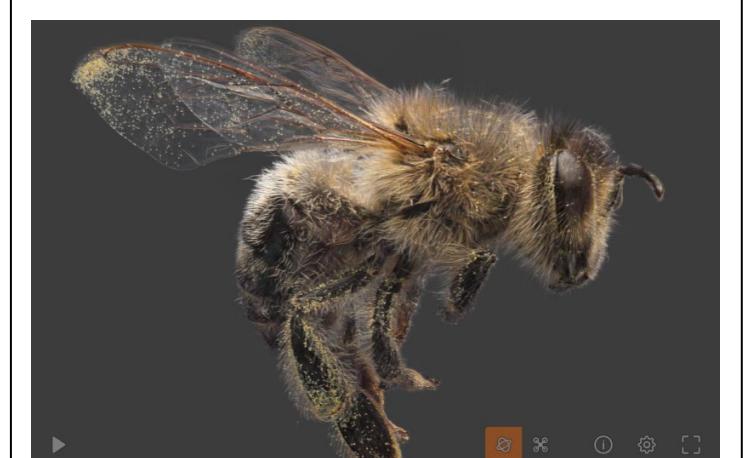
世界が変わってきたのである。ちょうど、明治維新での世界の新技術で、多くの仕事が消えていき、変化についていけない人が、苦境に陥ったのと同じである。

プラント 3 次元 Pla3 クラブ 分科会「ちくわクラブ」

見かけの美しさ、簡便さ、は、ほっておいても普及加速する。努力・苦労する必要もない。日本としては、**GS 測量** の可能性に挑戦していきたい。先日の世界ニュース 2025-11-5 「昆虫 GS」 SVNo.44 は、大いに勇気づけられた。

著者 Dany Bittel は、デジタルアーティストである。つまり、理性（左脳）だけでなく美的感覚、芸術性、感性（右脳）を重んじるエンジニアである。人の心を、感動し、より深いところから動かすのは、この感性であり、小生が 3 次元計測に関わり始めた 20 年前から主張している思想と、ぴったり一致する。

https://www.sparj.com/report/GS_高精細昆虫.pdf



<余談2>防災庁への要望

防災庁への要望者準備 {発災直後のドローンによる人命救助支援の在り方、社会の仕組み}

無人機事故調査研究会 (Drone Incident Research Association (Dira))

会長 泉 岳樹 (都立大) ,Morals 本多会長、防災運用制度研究会 務台会長、・・・

共同で報告書作成予定 河田先生の指導を受けてまとめる予定

河田先生 日経記事 11/15 朝刊 p.27

SparPlaza2025 初日 (10/28)

河田先生とパネル情報交換

文明だけでなく文化 (これぞ、日本の世界に
誇れる長所)



<余談3>格差是正

既得権にしがみつき、甘い汁を吸っていた連中は、ことごとく淘汰されていこう。

これまでの、鬱憤をはらす絶好の機会ともいえそう。別途作成

<余談4>50~100年後 世界の中での日本のあるべき姿

そのための憲法創成 別途作成

<余談5>子供たち、孫たちに 戦争の災禍に合わないために、われわれは今、何ができるか?

ATclub ゴマメの歯ぎしり? 別途作成

以上